

「鯖、復活」プロジェクトから始まる 鯖街道と小浜の将来展望

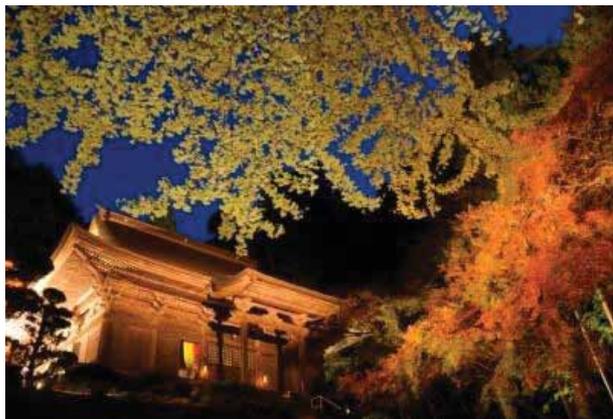
小浜市役所 農林水産課

若狭と都をつなぐ鯖街道



最も多くの物資が運ばれたルートで「若狭街道」と呼ばれた。

他にも「針畑越え」や「周山街道」と呼ばれるルートがあった。



由緒ある食の歴史、
豊かな自然、

趣のある町並みや祭礼などの文化遺産群が、
2015年「日本遺産」に登録



JAPAN HERITAGE

日本遺産



SABA
KAIDO

OBAMA
WAKASA

MIKETSUKUNI

小浜に根付く「鯖文化」



焼き鯖寿司



浜焼き鯖



へしこ



醤油干

小浜の海辺の集落



定置網

サーモン養殖



若狭ふぐ

サバ養殖



なれずし

泊

堅海

宇久

西小川

須ノ浦

谷及

釣姫

田烏

加尾

阿納

甲ヶ崎

犬熊

矢代

志積



若狭ガキ

仏谷

西津

シーカヤック



わかめ



若狭かれい

小浜

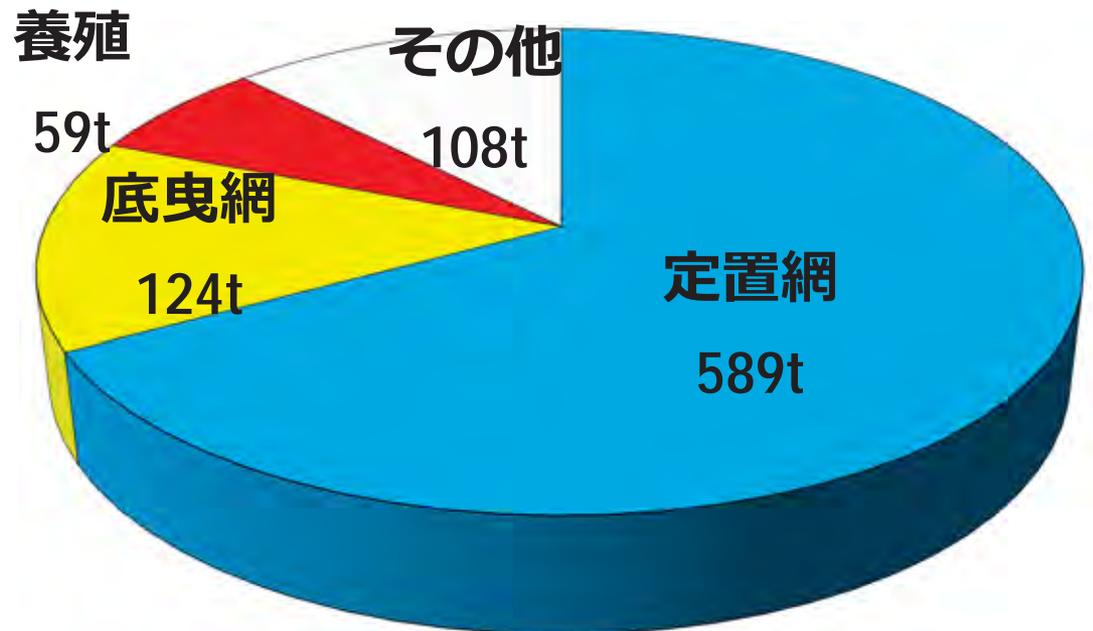
小浜市の漁業の概要

1. 小浜市漁業協同組合

組合員数 正 274人
准 15人
(平成28年10月時点)

2. 漁獲量 880トン (H27)

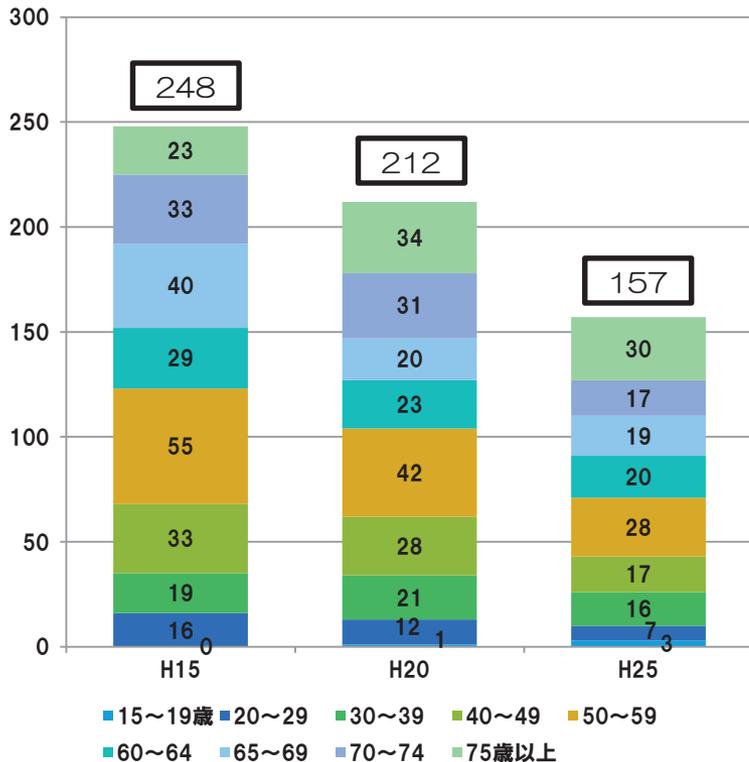
→ 県全体の約6%



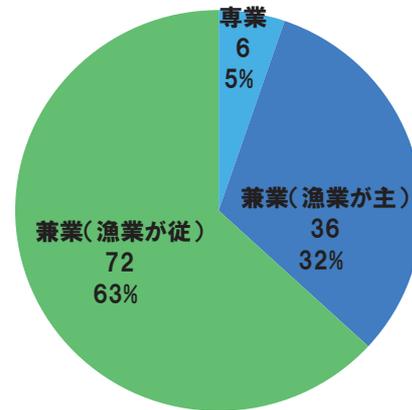
(資料：福井県農林水産統計年報)

小浜市における漁業就業者の動向

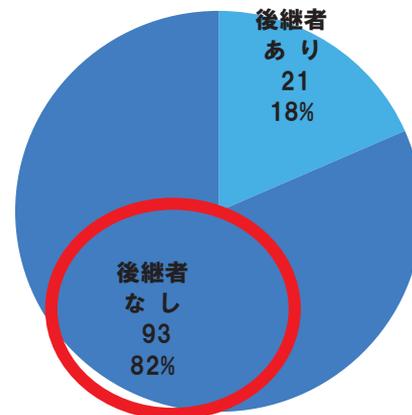
小浜市における年齢別漁業就業者の推移



専業・兼業別の漁業経営対数



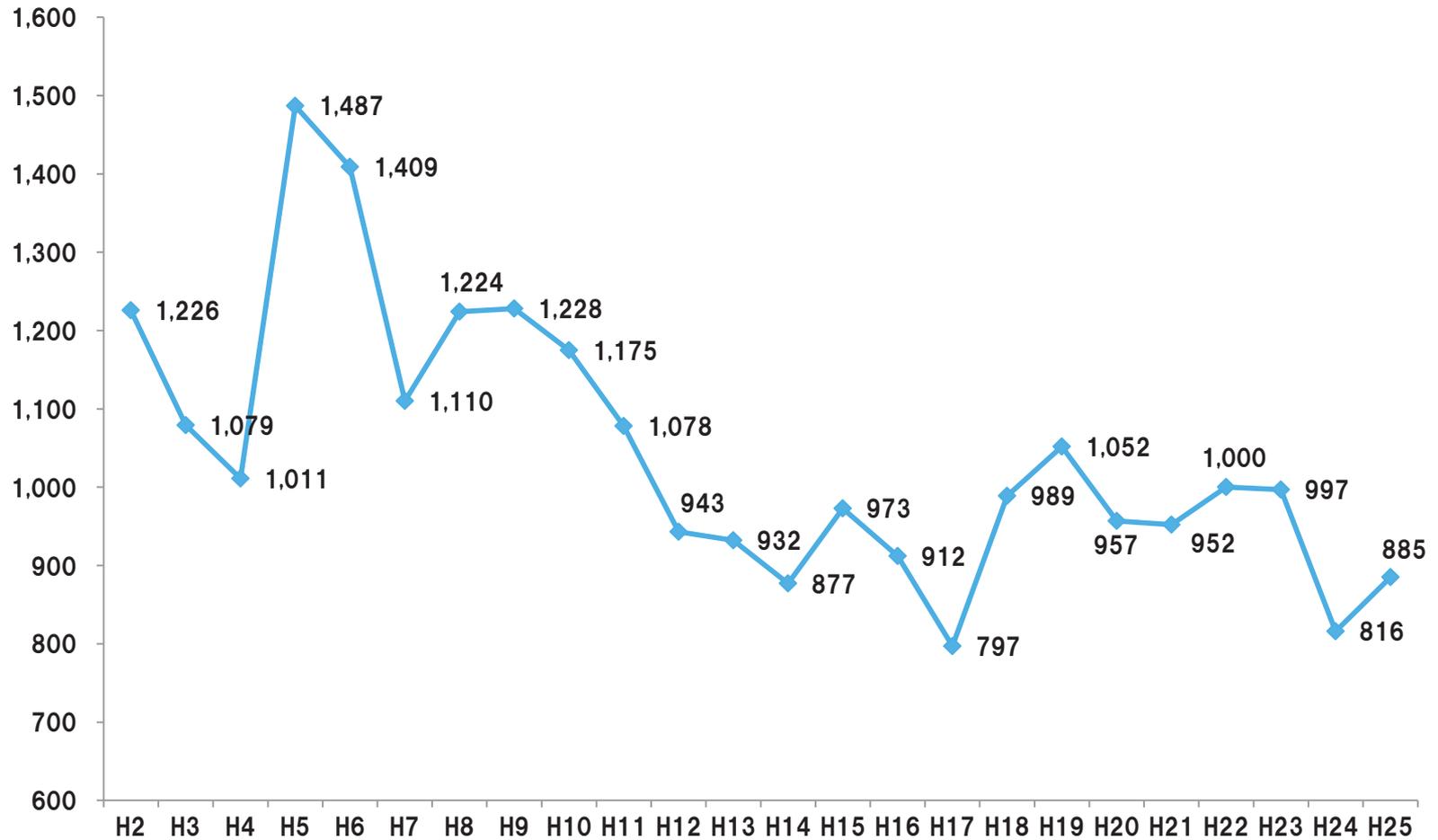
漁業経営体の後継者の有無



資料: 漁業センサス(2013)を基に作成。

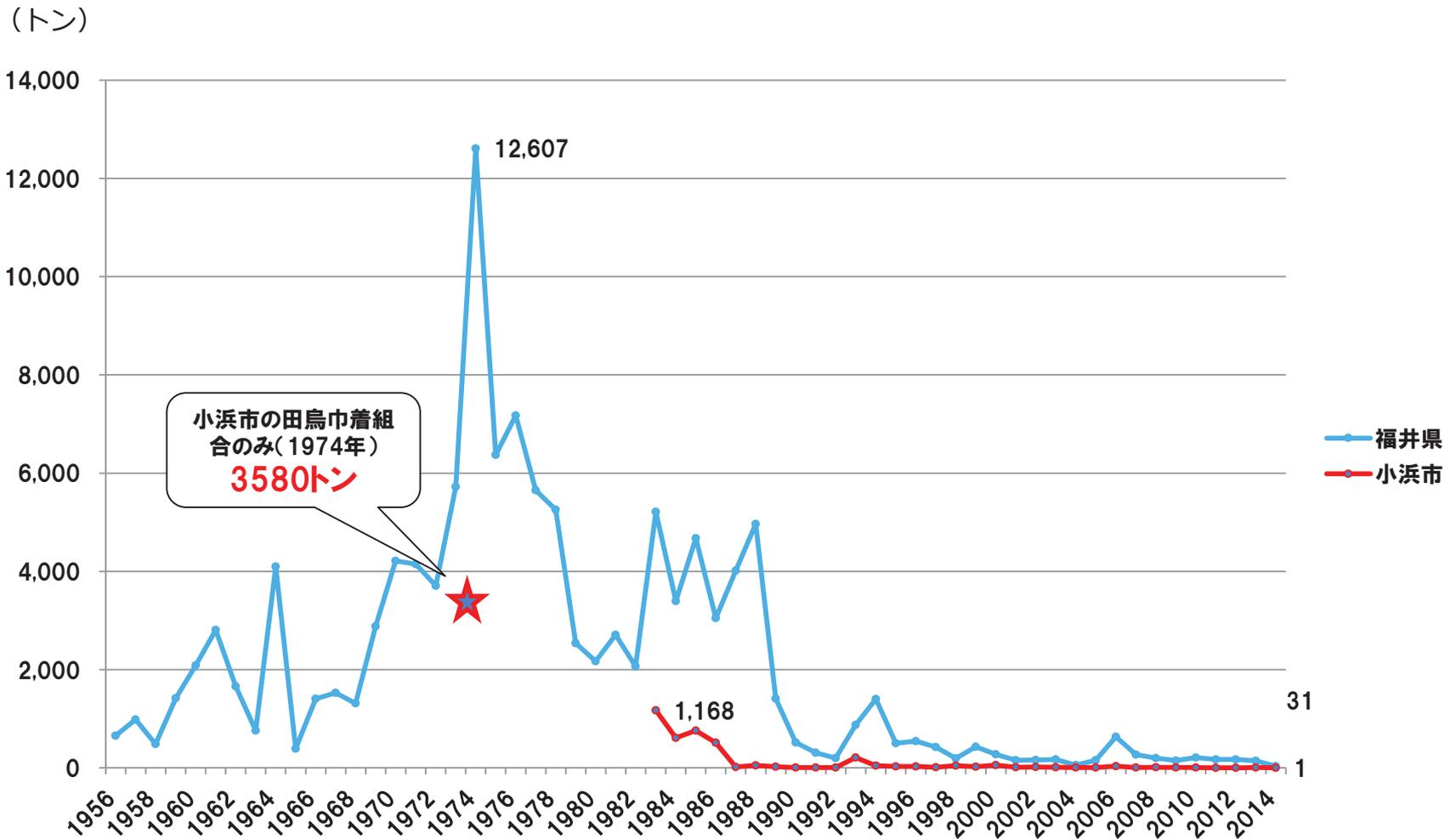
小浜市における漁業量の推移

(トン)



資料：福井農林水産統計年報を基に作成

サバ漁獲量の推移



資料: 福井農林水産統計年報等を基に作成

平成27年4月「御食国若狭と鯖街道」が日本遺産第1号に認定

- 小浜は鯖街道の起点として知られ、鯖文化が根付いている。
- 鯖は小浜のまちや文化、歴史を語る上での重要なキーワード



小浜 = 新鮮な魚介類というイメージ

- 四季を通じて旬の多様な魚種が水揚げ
- なかでも、知名度の高いマサバは、地域外からの需要が高い。



地域外にも広く知られる小浜の「鯖」のイメージを活かす必要

「鯖」を入りに

- ① 小浜への誘客促進
- ② 小浜のまちや文化、歴史に触れる
- ③ 小浜で日々水揚げされる本当に美味しい「若狭もの」の知名度向上
- ④ 水産物の需要拡大
- ⑤ さらなる誘客というループの形成へとつなげていく



鯖、復活

<コンセプト>

観光客をターゲットとして、鯖街道のストーリーとともに、
刺身でも食べられる美味しい小浜の鯖を安定供給

サバ養殖の管理

- 日々の観察、データ(水温)
水温28℃を目安に餌止め
- サバ用の餌の給餌
(日々の状況に応じて調整)
(浜家さんの声かけが重要)
- 病気が発生した際の対応
(鯖報告会議にて対応策検討)
- 出荷



関係者が飼育状況を確認



鯖報告会 (毎月1回)



協力体制(毎月1回鯖報告会議)

漁業者、漁協	<ul style="list-style-type: none">• サバの試験養殖• 基礎データの測定
福井県立大学 若狭高校	<ul style="list-style-type: none">• 過去の研究に基づく助言• 食味の改善に向けた検討• 人工種苗生産に向けた検討• 活け締め等の鮮度保持技術の研究
福井県栽培漁業センター	<ul style="list-style-type: none">• 飼育サポート• 人工種苗生産
小浜市	<ul style="list-style-type: none">• 試験養殖の実施 (漁協に委託)• 情報発信• 販路開拓• 関係機関の調整
株式会社鯖や	<ul style="list-style-type: none">• 情報発信拠点 (アンテナショップ)• 養殖サバの提供• 消費者の反応のフィードバック

これまでの結果(1)

<養殖編>

①平成28年度

- ・石川県で漁獲された約300gのピンサバ1,000尾を6月から5か月間養殖し、600g程度で活魚出荷
- ・表面水温が28℃を超えた8月前後は、約1か月間工サを止め、へい死を回避。その結果、生残率87%を達成
- ・主に市内の飲食店で販売。「脂の乗りが適度」と好評
- ・次年度出荷用の種苗として、6月に小浜市内の定置網に入網した約10gのサバコ2,000尾を確保し、生簀に収容



10gの稚魚
(これまでは廃棄)



愛情を込めて飼育管理

これまでの結果(2)

＜養殖編＞

②平成29年度

- ・昨年度に収容したサバコに加え、鳥取県から入手した種苗など、合わせて約8,000尾を6生簀で養殖
- ・一部の生簀では、10月からエサに酒粕を混ぜて飼育する試験を開始し、年末に「よっぱらいサバ」として販売を予定
- ・なお、6月に人工授精を行い約2,200尾の種苗を生産したが、一定量を安定して確保するためには、さらなる技術の改良が必要



人工種苗

これまでの結果(3)

<PR編>

①平成28年度

- ・「2016さばサミット in 若狭おばま」を10月30日に「おばま食文化館」で開催し、養殖サバをお披露目
- ・5月22日、鯖街道ウルトラマラソンを実施
- ・車体にサバの巨大なイラストあしらった「サバス」を運行（小浜駅と滋賀県近江今津駅間）
- ・小浜市と「(株)鯖や」が、小浜の養殖サバを提供する店舗を開設するため、クラウドファンディングを開始



さばサミット



ウルトラマラソン



サバス